

地域の安全はみんなの力で

—平成23年度全国地域安全運動
広報啓発行事—

10月11日から実施された「全国地域安全運動」を前に、10月10日、出発式およびマーチングパレードを実施。南丹船井防犯協会会員や南丹船井防犯推進委員協議会会員、民生児童委員などが参加しました。南丹市国際交流会館玄関前で式典が行われたあと、「みんなのでつくろ安心の街」の横断幕を先頭に、園部高等学校吹奏楽部生徒の演奏にあわせ、園部公園入り口から園部町本町を経由して南丹警察署駐車場まで約800メートルを行進しました。



▲横断幕を先頭にパレードをする参加者



▲南丹市出身者の英霊に献花を行う参列者

尊い犠牲に誓う恒久の平和

—南丹市戦没者追悼式—

10月20日、平成23年度南丹市戦没者追悼式を園部公民館大ホールで挙行。遺族358人など関係者が参列され、先の大戦により犠牲になられた南丹市出身者の英霊1886柱に黙とうをささげました。南丹市遺族会を代表して清水隆会長が、「今日の平和と繁栄はご英霊の犠牲の上に築かれたものであることを次の世代に語り継ぎ、恒久平和の実現に貢献します」と追悼の言葉を述べられました。その後、参列者全員が献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。

誰でもできるボランティア わがまちを思う心を実行に

—赤い羽根共同募金運動—

今年で65回目となる「赤い羽根共同募金運動」が、10月1日から12月31日まで全国一斉に実施されています。南丹市でも10月3日に市内8カ所で街頭啓発を実施。集まった寄付金の約70%が、次年度に京都府共同募金会から各市町村に分配されます。南丹市共同募金委員会では、この寄付金を、障がい者福祉の充実や子どもへの健全育成、ボランティアグループ、福祉団体・施設への活動支援などに活用しています。



▲親子で募金にご協力いただきました



▲浄化施設の中をのぞき込む親子

施設公開 来場した親子ら 汚水処理の方法などを学ぶ

—南丹浄化センター施設公開—

8月27日、南丹浄化センターの施設公開が行われました。同センターは、園部、八木地域の汚水を処理している施設で、下水道に関する理解を深めてもらおうと、京都府の主催で毎年行われています。来場者は、施設内で汚水処理の仕組みや微生物が汚水を除去する様子を学んだ後、ごみや泥を取り除く沈殿池など施設内を見学しました。また、処理施設に関するクイズラリーや鳥の巣箱の工作なども行われました。